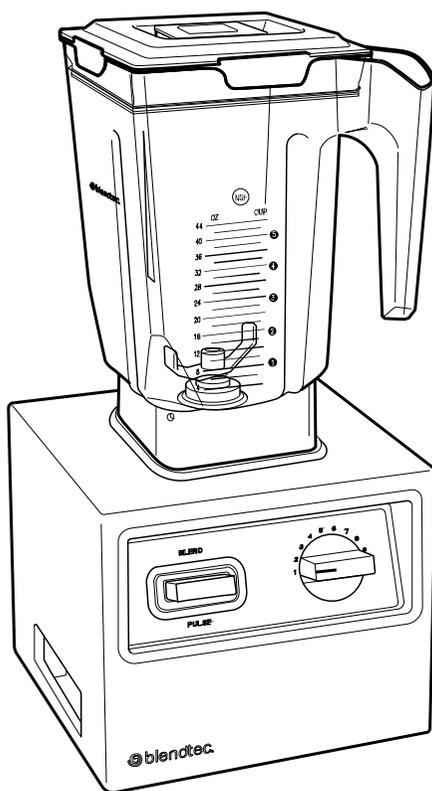


マルチ ブレンダー

BAR BLENDER (業務用)

 **blendtec**®**取扱説明書**

このたびは、当社のマルチ ブレンダー (BAR BLENDER) をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

# もくじ

安全上のご注意.....	1～7
各部の名称.....	8
据付けについて.....	9・10
操作手順.....	11～18
お手入れ.....	19～27
容器、容器蓋、のぞき蓋、容器蓋パッキンの洗浄.....	20～26
本体の清掃.....	26・27
LEDのアラーム表示.....	28・29
故障の診断と手当.....	30・31
電源プラグ、アース線の点検（年に1～2回の点検）.....	32
電源プラグの点検.....	32
アース線の点検.....	32
仕様.....	36
梱包内容一覧.....	36
保証書（別添付）について/消耗部品 /補修用性能部品の保有期間.....	37

# 安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください  
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください

**表示と意味は次のようになっています。**

## 注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

\*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

## 図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊙は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊙の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

## ⚠ 警告



アース線接続

### アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。



専用電源

### 本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントに直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

### 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

### 屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

### 湿気の多い所や、水などがかかり易い、または流れてくる所で使用しないこと

本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



確認

### 使用する場所が、水などで濡れていないかを確認すること

モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になります。また、漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

### 本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

### 電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、ショート、火災の原因になります。



禁止

### 電源コードや電源プラグが破損している場合は使用しないこと

そのまま使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。

## ⚠ 警告



点検清掃

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着した場合や、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。



連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本体の各スイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグを抜く

異常時は電源スイッチを「OFF(切)」にし、コンセントから電源プラグを抜いて、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



換気

ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用せずに、窓をあけて換気すること

本機の各スイッチを操作したり、コンセントから電源プラグを抜いたりすると、引火爆発し危険です。



挿入禁止

カッターの回転中は、投入口から指、箸、スプーンなどを入れないこと

誤ってカッターに触れた場合、ケガの原因になります。  
カッターや箸、スプーンが破損した場合、異物混入の原因になります。



禁止

カッターの回転が完全に止まるまでは、容器蓋を取り外さないこと

誤ってカッターに触れた場合、ケガの原因になります。  
材料が飛び散り、周囲を汚す原因になります。



プラグを抜く

容器に食材を入れるときや取り出すときは、電源スイッチを「OFF(切)」にし、電源プラグを抜くこと

誤って操作スイッチに触れた場合、カッターが回転してケガをする恐れがあります。

## ⚠ 警告



プラグを抜く

容器の取り外しの際は、電源スイッチを「OFF(切)」にし、コンセントから電源プラグを抜くこと

誤って操作スイッチに触れて、カッターが回転した場合、容器の転倒の原因になり、容器が転倒した場合、ケガをする恐れがあります。周囲を汚す原因にもなります。



プラグを抜く

本体に容器が取付けられていないときは、電源スイッチを「OFF(切)」にして、コンセントから電源プラグを抜いておくこと

容器が取り付けられていない状態で、本機が動作した場合、ケガをする恐れがあります。



禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないこと

修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、ショート、感電、火災の原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。



禁止

本機は、業務用です。家庭用として使用しないこと



禁止

本体上部の可動部分は触らないこと

ケガをする原因になります。

## ⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。

## ⚠ 注意



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

コンセントから電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源プラグ内部でコードが傷つき、ショート、感電、火災の原因になります。



しっかり持つ

容器を取り外すときは、取手をしっかりと持って上方向に持ち上げること

容器を持ったり、容器蓋を持って持ち上げたりすると、転倒や落下によるケガの原因になります。

材料がこぼれた場合、周囲を汚す原因になります。

材料が本体にかかった場合、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

80℃を超えている熱いものや、調理中に80℃を超える材料(液体と食材)は調理しないこと

モーター回転による摩擦熱で高温になり、膨張した空気の影響で容器蓋が外れて材料が容器から飛び出した場合、やけどの原因になります。

調理し続けると、シール部やパッキンなどの部品が破損し、材料がシール部から漏れる原因になります。



禁止

45℃を超える熱い材料(80℃以下の液体や食材)は、575mLを超える量は調理しないこと

容器蓋が外れたり、容器蓋と容器の隙間から材料が飛び出したりした場合、やけどの原因になります。



低速

45℃を超える熱い材料(80℃以下の液体や食材)の調理は、無段階変速ダイヤルの目盛りは「1」～「6」の範囲でおこなうこと

高速回転で調理し、容器蓋と容器、またはのぞき蓋の隙間から材料が飛び出したりした場合、やけどの原因になります。



禁止

材料の取り出しは、投入口を使わずに、必ず容器蓋を取り外しておこなうこと

容器蓋が外れた場合、周囲を汚す原因になります。



禁止

45℃を超える熱い材料(液体や食材)が容器に入っているときは、容器の取手以外を触らないこと

容器部分を持つと、やけどをする原因になります。

## ⚠ 注意



しっかり持つ

45℃を超える熱い材料(液体や食材)が容器に入っているときに、容器を持ち上げるときは、取手をしっかりと持つこと

容器を落としたり、倒したりすると、やけどやケガをする原因になります。材料がこぼれた場合、周囲を汚す原因になります。材料が本体にかかった場合、漏電、ショート、感電の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱でプラスチックが変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

本機の電源スイッチを「ON(入)」にしたり、電源プラグを抜いたりすると、発火の原因になります。



プラグを抜く

本体の清掃や点検のときは、必ず電源スイッチを「OFF(切)」にし、コンセントから電源プラグを抜くこと

誤って操作スイッチに触れた場合、カッターが回転してケガの原因になります。漏電、ショート、感電の原因にもなります。



禁止

モーターの回転中は、容器を持ち上げないこと

容器の転倒や落下の原因になります。



禁止

モーターの回転中は、のぞき蓋や容器蓋を容器から取り外さないこと

材料が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた材料で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。



除菌洗浄

容器内のカッター、容器、容器蓋、のぞき蓋、容器蓋パッキンなど食材が接する部分は使用後、必ず除菌洗浄剤で洗浄、清掃すること

除菌洗浄しないと、付着した食材が腐敗し、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。



禁止

容器内の回転洗浄をするときは、容器内に1/3以上の水を入れないこと

カッターを回転させたとき、容器と容器蓋の間から水があふれ出ることがあり、本体にかかると、漏電、ショート、感電の原因になります。



洗い流す

洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に洗い流すこと

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。

## ⚠ 注意



禁止

容器蓋、のぞき蓋、容器蓋パッキンを取り付けずに調理、洗浄時の運転をおこなわないこと

材料や水が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグを抜く

ご使用後は、安全のため電源スイッチが「OFF(切)」になっていることを確認し、コンセントから電源プラグを抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



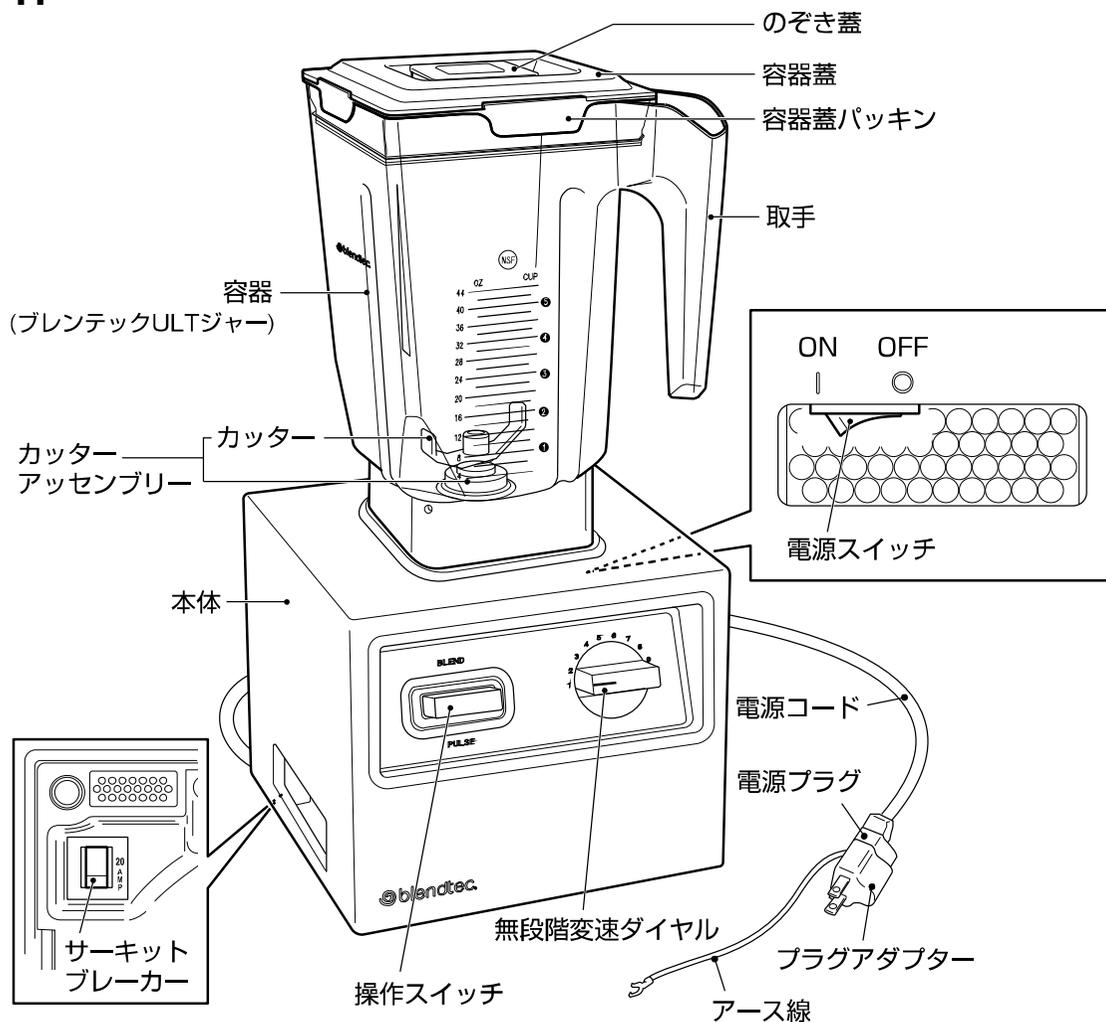
テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めること

# 各部の名称

本機は、液体に食材を加えた材料を粉碎し攪拌する機械です。

## 本体



## 付属品

FMI除菌洗剤  
(90g)



# 据付けについて

## ⚠ 警告



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること  
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



湿気の多い所や、水などがかかり易い、または流れてくる所で使用しないこと  
本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



使用する場所が、水などで濡れていないかを確認すること  
モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になります。また、漏電、ショート、感電の原因になります。



アース線を必ず接続すること  
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合、感電の原因になります。  
設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。

## ⚠ 注意



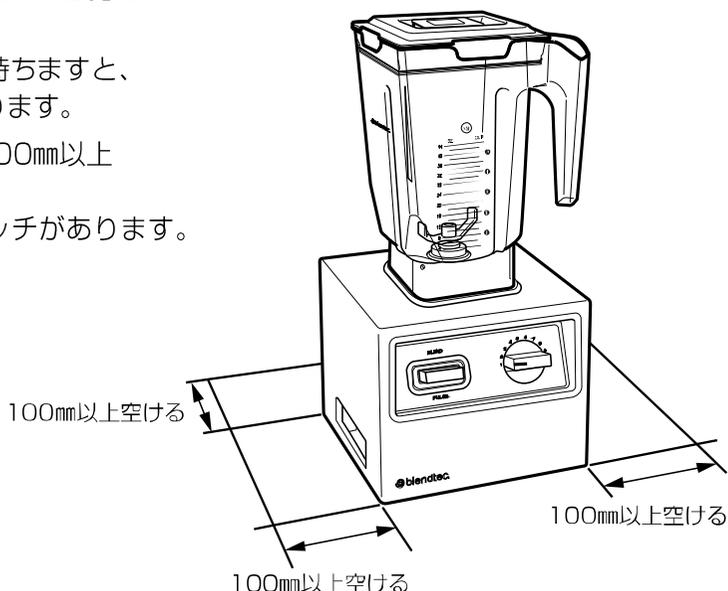
丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること  
据え付ける場所が、ガタついたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。

## 空気の流通の妨げになるものを付近に置かないでください

本体内部のモーターが熱を持ちますと、回転不良や故障の原因になります。

本機の背面、左右側面は、100mm以上スペースを空けてください。

※本機背面には、電源スイッチがあります。



操作スイッチ部が正面にくるように据え付けてください

本機の前面と上部は、調理作業に支障がないように、十分なスペースを確保してください

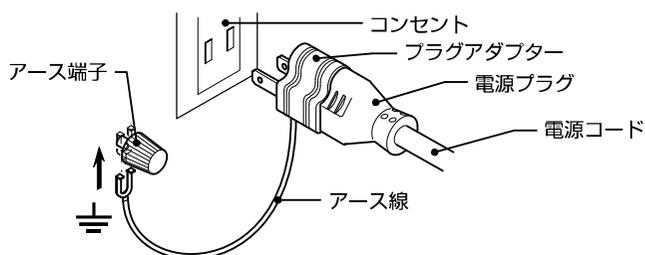
据え付ける場所が、水などで濡れていないことを確認してください

本機は、コンセントに電源プラグ（プラグアダプター付）を接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください

電源コードの長さ：1.7m

プラグアダプターのアース線（緑色の線）を設備側のアース端子に接続してください

ご使用の際は、本機専用のコンセントに電源プラグ（プラグアダプター付）を差し込んでください



### お願い

延長ケーブルを使わずに直接 100V のコンセントに接続してください。

長い延長ケーブルなどを使用しますと、電圧降下のため起動しないことがあり、電圧降下が大きい場合（モーター起動電圧AC85V以下）は、モーターの起動電流値が異常に高くなり、故障の原因になります。

梱包用の外箱は捨てずに保管してください。

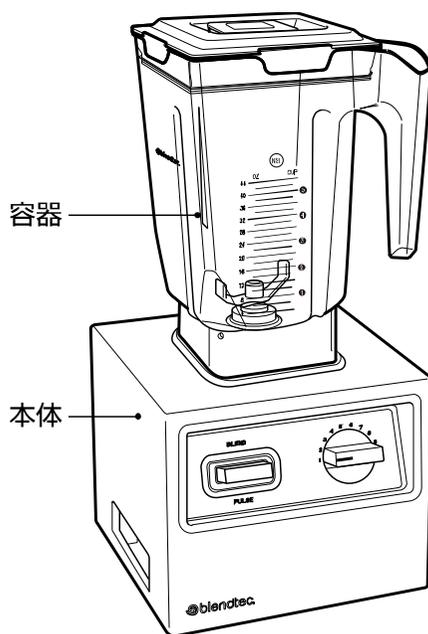
引越しのときや修理のために発送の際にお使いください。

# 操作手順

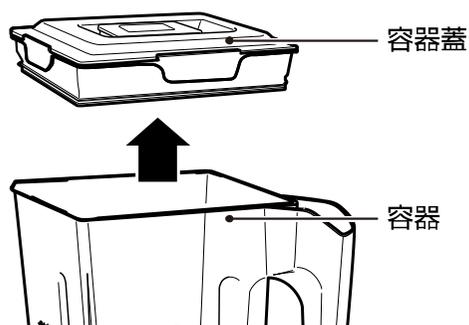
## お願い

本機は、液体に食材を加えて、粉碎、攪拌する機械です。  
食材の攪拌以外には使用しないでください。

1. 調理を始める前に「お手入れ」(19ページ)を参照して、のぞき蓋、容器蓋、容器、容器蓋パッキンをきれいに洗浄してください
2. 容器を本体にセットしてください



3. 容器から容器蓋を取り外してください



## 4. お好みの材料(液体と食材)を容器内に入れてください

### ⚠ 注意



80℃を超えている熱いものや、調理中に80℃を超える材料(液体と食材)は調理しないこと

モーター回転による摩擦熱で高温になり、膨張した空気の影響で容器蓋が外れて材料が容器から飛び出した場合、やけどの原因になります。  
調理し続けると、シール部やパッキンなどの部品が破損し、材料がシール部から漏れる原因になります。

45℃を超える熱い材料(80℃以下の液体や食材)は、575mLを超える量は調理しないこと

容器蓋が外れたり、容器蓋と容器の隙間から材料が飛び出したりした場合、やけどの原因になります。



45℃を超える熱い材料(80℃以下の液体や食材)の調理は、無段階変速ダイヤルの目盛りは「1」～「6」の範囲でおこなうこと

容器蓋と容器の隙間から材料が飛び出したりした場合、やけどの原因になります。

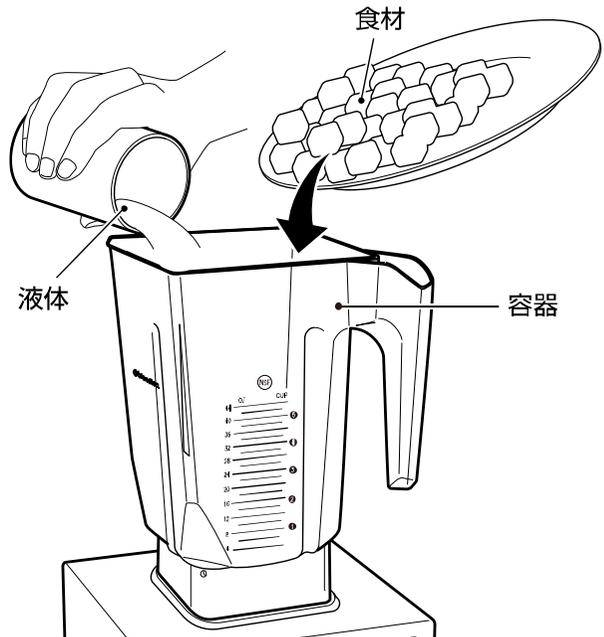


カッターの刃には、直接触れないこと

カッターの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

### メモ

先に液体を入れた後、やわらかい食材から順に入れると、うまく攪拌されます。



### お願い

食材のみの調理、および水分量が少なく粘度の高い食材、極端に固い食材は、絶対に調理しないでください。

モーターに過負荷がかかり、故障の原因になります。  
必ず十分な液体と一緒にに入れて調理してください。

## お願い

45℃以下の材料（液体と食材）の調理は、最大 1.3L、最小 0.35L の範囲で調整してください。

材料（液体と食材）を入れ過ぎると、食材がこぼれ出ます。  
少なすぎると、うまく攪拌されません。

80℃を超えている熱いものや、調理中に 80℃を超える材料(液体と食材)は調理しないでください。

45℃を超える熱い材料(80℃以下の液体と食材)は、575mL を超える量はいれしないでください。

25 mm 角以上の大きな氷は、必ず事前に細かく砕いてから容器に入れてください。

25 mm角以上の大きなキューブアイス（製氷機の氷）やロックアイスをそのまま調理するとカッターの刃が破損する恐れがあります。

氷を使って調理をする場合は、先に氷を容器内に入れてから材料（液体+食材）を入れてください。

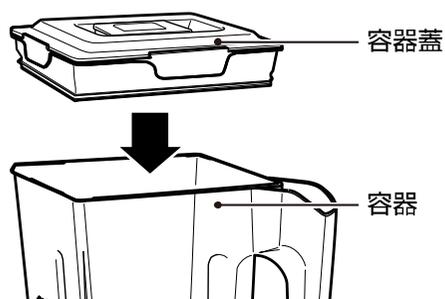
先に材料（液体+食材）を入れて、その上に氷を入れますと、回転したとき氷が浮き上がってうまく粉碎されず、氷の固まりが残る場合があります。

## 5. 容器蓋(のぞき蓋、容器蓋パッキンセット済み)を容器にセットしてください

容器蓋には、のぞき蓋、容器蓋パッキンをしっかりと取り付けてください。

### お願い

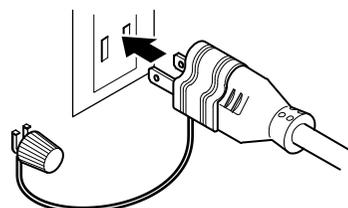
容器蓋には、のぞき蓋、容器蓋パッキンを必ず取り付けてください。



## 6. 専用コンセントに、電源プラグ(プラグアダプター付)を差し込んでください

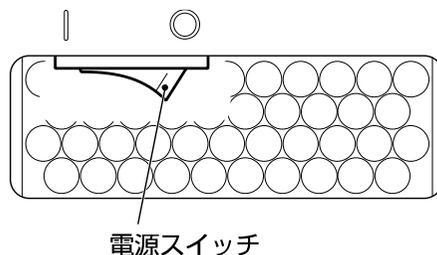
### お願い

電源プラグ(プラグアダプター付)を専用コンセントに差し込む前に、電源スイッチが「OFF(切)」になっていることを確認してください。



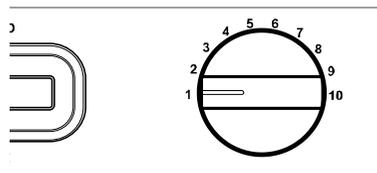
## 7. 本体背面にある電源スイッチを「ON(入)」の状態にしてください

操作パネルの中央にあるLEDが白色に点灯します。



## 8. 調理をおこなってください

無段階変速ダイヤルの目盛りを「1」にあわせてください。



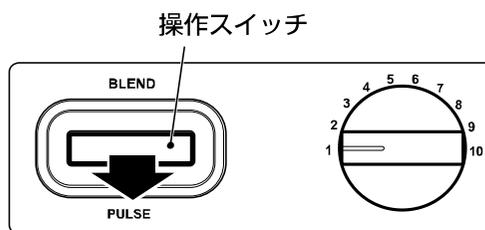
操作スイッチを『PULSE』(パルス)に数回入れて、材料(液体と食材)を少し砕いてください。

### メモ

調理前に操作スイッチを『PULSE』(パルス)に数回入れて、あらかじめ材料(液体と食材)をあらかじめ少し砕いておくとスムーズに調理ができます。

操作スイッチを『PULSE』(パルス)に数回入れている間のみカッターが回転します。

ダイヤルの目盛り「1」(3,100 r.p.m.)  
～「10」(25,000 r.p.m.)

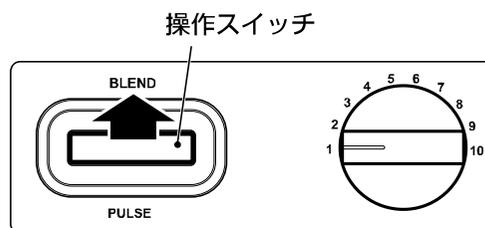


### お願い

『PULSE』(パルス)は、調理前にあらかじめ材料(液体と食材)を砕くこと以外には使用しないでください。

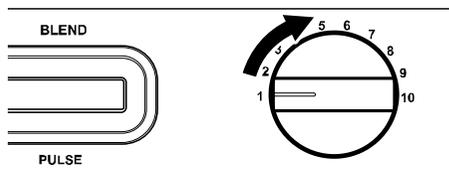
『PULSE』(パルス)のみで調理をおこなわれますと、故障の原因になります。

操作スイッチを『BLEND』(攪拌)に入れて調理を開始してください。



無段階変速ダイヤルを調理にあった速度の位置までゆっくり回してください。

ダイヤルの目盛りは、「1」の位置で1,500r.p.m.、「10」の位置で17,500r.p.m.まで無段階に変速します。途中の目盛りは、目安の速度となっています。



約30秒～60秒で調理が仕上がります。

## お願い

無段階変速ダイヤルの目盛りは、「1」～「10」までありますが、高速で使用する場合でも、ダイヤルの目盛りは、「1」の位置で開始してから速度を変えてください。

最初から高速で調理をおこないますと、モーターに負担がかかり、機械が大きく振動して転倒し、機械の破損およびケガの原因になりますのでご注意ください。

45℃を超える熱い材料（80℃以下の液体や食材）の調理は、無段階変速ダイヤルの目盛りは、「1」～「6」の範囲でおこなってください。

異音や振動が大きいときは、食材を減らす、または食材を小さく刻み直してください。

操作スイッチを『BLEND』に入れたとき、本体が揺れることがありますので、本体を押さえながら操作スイッチを『BLEND』に入れて調理を開始してください。

本機は、定格時間内でご使用ください。

8分定格とは、8分間は連続して運転できるということです。

ただし、使用上の注意として、その後30分以上は機械を休ませてください。

定格時間(8分間)を超えて運転をしますと、モーターが異常に過熱し、モーターの寿命が短くなったり、機械内部の部品が破損したり、故障の原因になります。

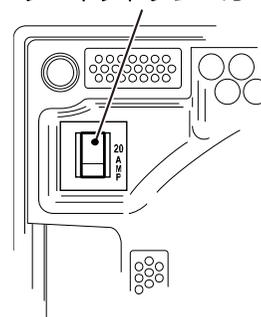
本機は、モーター保護装置が内蔵されています。

堅い食材や粘度の高い食材などを調理して、モーターに過負荷がかかった場合、モーター保護装置がはたらいて機械が止まります。

機械が止まった場合は、操作スイッチを「OFF(切)」の位置にした後、電源スイッチを「OFF(切)」にして、止まる原因になった食材を取り除くか量を減らしてください。

本機の後側底面にあるサーキットブレーカーを押し、電源スイッチを「ON(入)」にして、再度調理をおこなってください。

サーキットブレーカー



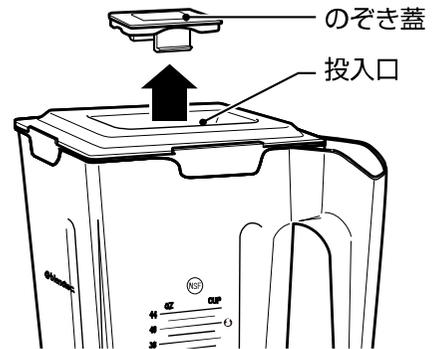
容器洗浄後、カッター軸部の水分を取り除くとき以外は、空運転はしないでください。

材料を入れずに運転すると、容器内のカッター軸部が焼き付いて回らなくなるなど、故障の原因になります。

## メモ

調理の途中で材料を加えたり、調味料を投入する場合は、のぞき蓋を取り外して、投入口から材料や調味料を投入してください。

投入後は、必ずのぞき蓋をセットしてください。



## 9. 調理が終わりましたら、操作スイッチを「OFF(切)」の位置に戻して回転を止めてください

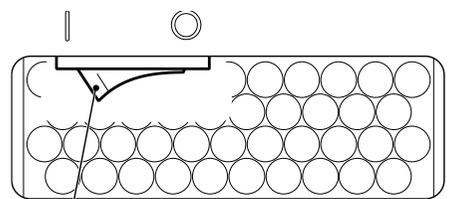
### 注意



モーターの回転中は、容器を持ち上げないこと  
容器の転倒や落下の原因になります。

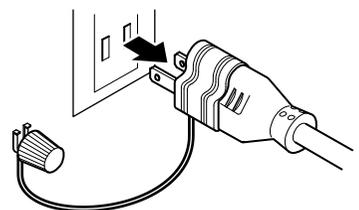
モーターの回転中は、のぞき蓋や容器蓋を容器から取り外さないこと  
材料が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた材料で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

## 10. 本体背面の電源スイッチを「OFF(切)」にしてください



電源スイッチ

## 11. コンセントから電源プラグ（プラグアダプター付）を抜いてください



## 12. 材料を取り出してください

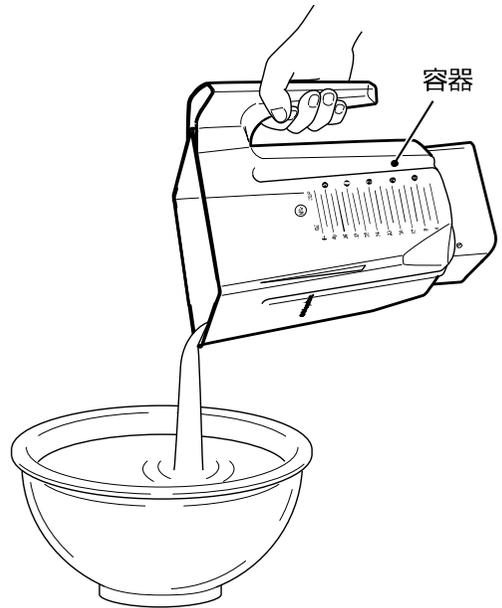
**⚠ 注意**

**!** 容器を取り外すときは、取手をしっかりと持って上方向に持ち上げること  
容器を持ったり、容器蓋を持って持ち上げたりすると、転倒や落下によるケガの原因になります。  
材料がこぼれた場合、周囲を汚す原因になります。  
材料が本体にかかった場合、漏電、ショート、感電の原因になります。

**⊘** 材料の取り出しは、投入口を使わずに、必ず容器蓋を取り外しておこなうこと  
容器蓋が外れた場合、周囲を汚す原因になります。

**!** 45℃以上の熱い材料(80℃以下の液体と食材)が容器に入っているときは、容器の取手以外を触らないこと  
容器部分を持つと、やけどをする原因になります。

**!** 45℃以上の熱い材料(80℃以下の液体と食材)が容器に入っているときに、容器を持ち上げるときは、取手をしっかりと持つこと  
容器を落としたり、倒したりすると、やけどやケガをする原因になります。  
材料がこぼれた場合、周囲を汚す原因になります。  
材料が本体にかかった場合、漏電、ショート、感電の原因になります。



容器を本体から外した後、容器蓋を外して、中の材料を別の容器に移してください。

### お願い

調理後、速やかに調理した材料を別の容器に移してください。

調理した材料を本機の容器内で保存することは、絶対にしないでください。

調理した材料を長時間入れたままにしておきますと、カッターのシール部に材料が流れ込むことがあります。

容器軸受け内部が錆びる原因になります。

容器軸受け内部が錆びると、回転不良の原因になります。

### 13. 使用後は、本機のお手入れをしてください

「お手入れ」(19ページ) 参照

#### **お願い**

**本機の専用容器以外は絶対に使わないでください。**

専用容器以外のものを使用されますと、故障の原因になります。

**容器は別にいくつかお買い求めいただき、容器を交互にご使用くださると容器が長持ちします。**

**運転中に、機械の移動はおこなわないでください。**

本体や容器底(外側)のカップリング部が、破損する原因になります。

**容器底(外側)のカップリング部を回しても、固くて回らなくなった場合や、カッターがぐらぐらする場合は、容器の軸受部が不良になっていますので、その容器は使用しないでください。**

そのまま使い続けると、カッターの回転が止まったり、ゴムパッキンが破断したりします。

ゴムパッキンが破断すると、異物として食材に混じって危険です。

# お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、次の場合、必ず「お手入れ」をおこなってください

- 初めて機械を使用する場合。
- 調理後、速やかに。
- 繰り返し使用する場合、30分おき。

## ⚠ 警告



本体に直接水をかけないこと  
漏電、ショート、感電の原因になります。

## ⚠ 注意



容器内のカッター、容器、容器蓋、のぞき蓋、容器蓋パッキンなど食材が接する部分は使用後、必ず除菌洗浄剤で洗浄、清掃すること  
除菌洗浄しないと、付着した材料が腐敗し、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。



カッターの刃には、直接触れないこと  
カッターの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

## お願い

容器、容器蓋、のぞき蓋、容器蓋パッキンを洗浄するときは、食器洗浄機などは使用せずに80℃以下のお湯で洗浄してください。

高温洗浄すると変形したり、変色したりする恐れがあります。

容器底部カップリングには、水がかからないようにしてください。

カッターの回転不良の原因になります。

洗浄や清掃をするときは、かたいタワシなどでこすらないでください。

キズがつく恐れがあります。

洗浄後、本機を保管される場合は、各部品をアルコール除菌剤で除菌してください。

次亜塩素酸ソーダを含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。

部品の劣化、および変色の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷がついたり、破損の原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。

やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などを使用して洗浄をおこなう場合は、漬け置きしないで洗浄してください。

洗浄後は、十分すすいでから速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。

塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などに、漬け置きしますと、錆および腐食の原因になります。

除菌洗浄をおこなう際の洗浄剤は、付属の「FMI 除菌洗浄剤」のような無泡性および低発泡性で、厨房設備および調理器具用のものを使用し、入れすぎないようにしてください。

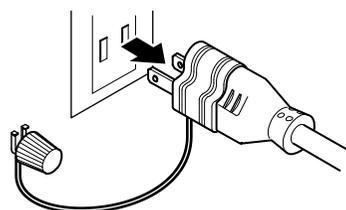
濃度が濃すぎると金属、プラスチック、ゴムの部品を損傷します。

除菌洗浄剤（「FMI 除菌洗浄剤」を含む）、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

「FMI 除菌洗浄剤」をご購入の場合は、弊社(株式会社 エフ・エム・アイ)または納入代理店へご連絡ください。

## 容器、容器蓋、のぞき蓋、容器蓋パッキンの洗浄

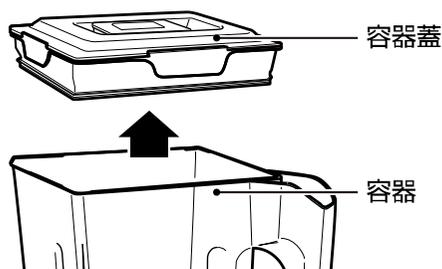
1. コンセントから、電源プラグ（プラグアダプター付）を抜いてください



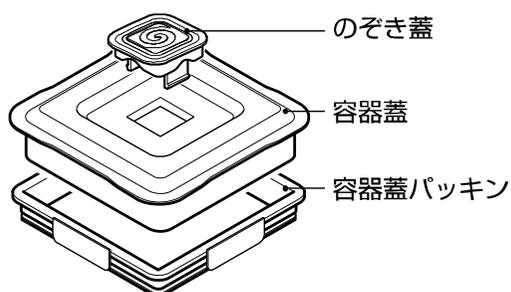
2. 本体から容器を取り外して、容器、容器蓋、のぞき蓋、容器蓋パッキンをすすぎ洗いしてください

本体から容器を取り外してください。

容器から容器蓋を取り外してください。



容器蓋からのぞき蓋、容器蓋パッキンを取り外してください。



水、または温水を流しながら、のぞき蓋、容器蓋、容器蓋パッキン、容器に付着した材料をすすぎ流してください。

**お願い**

容器底部カップリングには、水がかからないようにしてください。

カッターの回転不良の原因になります。

### 3. 容器内を洗浄してください

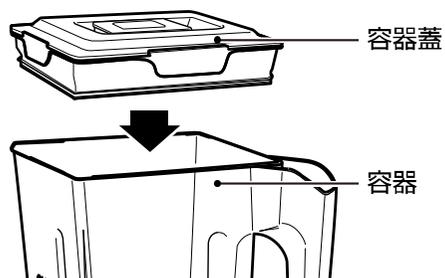
容器内に、「FMI除菌洗浄剤」を溶かしたぬるま湯を約1/3程度入れてください。

**お願い**

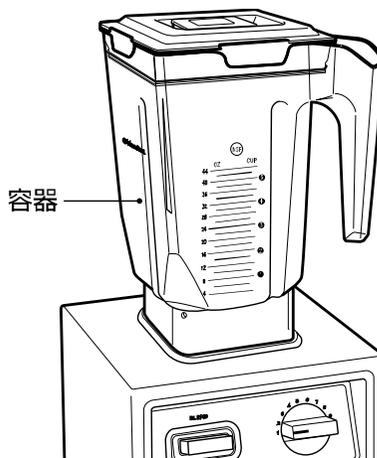
容器内の洗浄は、「FMI 除菌洗浄剤」のような無泡性の除菌洗浄剤の使用が望ましいですが、食器用中性洗剤を使用される場合は、容器内に入れる水の量はカッターが漬かる程度にし、食器用中性洗剤を少量入れて、カッターを回転させて洗浄してください。

容器内に水を多量に入れますと、回転させたとき容器と容器蓋の間から泡が溢れ出ることがあります。

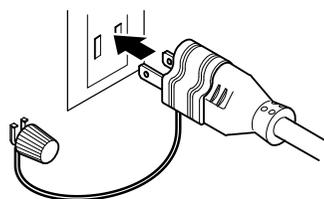
容器に、容器蓋（のぞき蓋、容器蓋パッキンセット済み）をしっかりと取り付けてください。



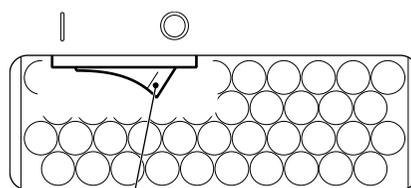
容器を本体にセットしてください。



専用コンセントに、電源プラグ（プラグアダプター付）を差し込んでください。



本体背面にある電源スイッチを「ON(入)」にしてください。

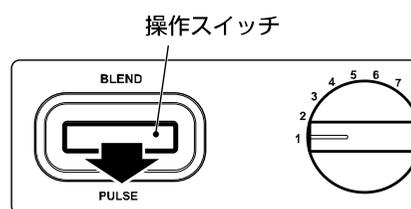


電源スイッチ

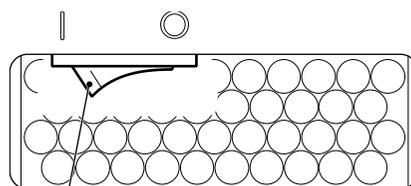
操作スイッチを約1分間、『PULSE』（パルス）に入れてカッターを回転させてください。

#### メモ

油脂分を多く含んだ材料(液体と食材)を調理したとき、または材料(液体と食材)のこびり付きがひどいときは、状態に応じて回転時間を長く(1分間程度)にしてください。



本体背面の電源スイッチを「OFF(切)」にしてください。



電源スイッチ

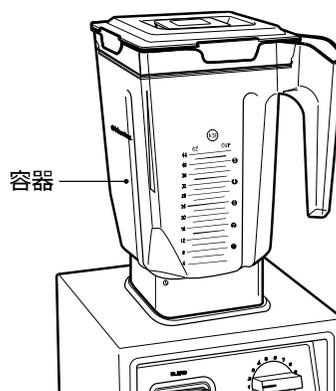
本体から容器を取り外し、容器蓋を取り外して、洗浄剤が入った水をすべて捨ててください。

## 4. 容器内をすすいでください

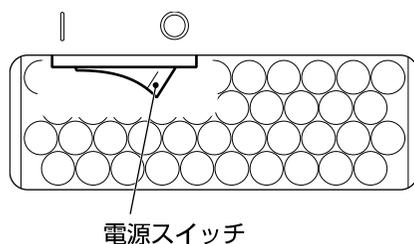
容器内にきれいな水、または温水を1/2程度入れてください。

容器に容器蓋（のぞき蓋、容器蓋パッキンセット済み）をしっかりと取り付けてください。

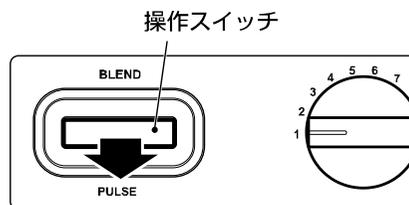
容器を本体にセットしてください。



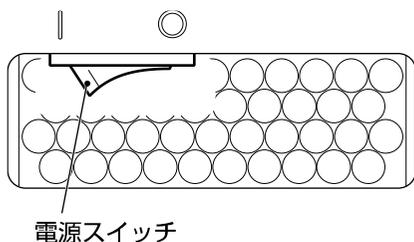
本体背面にある電源スイッチを「ON(入)」にしてください。



操作スイッチを約1分間、『PULSE』(パルス)に入れてカッターを回転させてください。

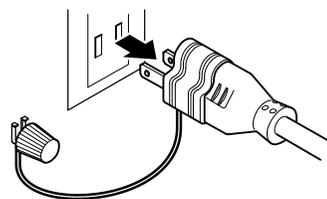


本体背面の電源スイッチを「OFF(切)」にしてください。



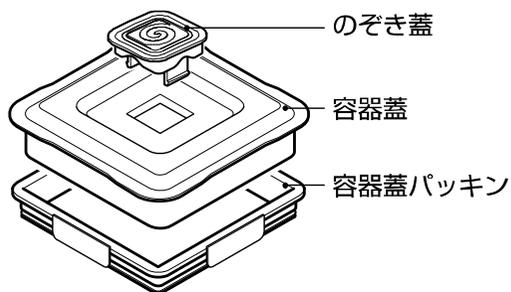
本体から容器を取り外し、容器蓋を取り外して、洗浄剤が入った水をすべて捨ててください。

コンセントから、電源プラグを抜いてください。



## 5. 容器、容器蓋、のぞき蓋、容器蓋パッキンを洗浄してください

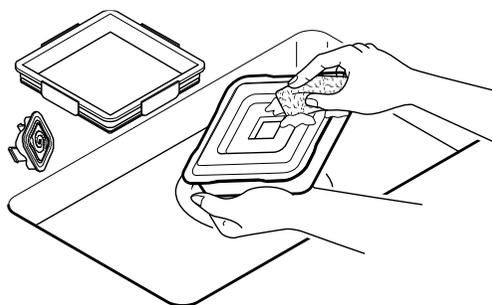
容器蓋からのぞき蓋、容器蓋パッキンを取り外してください。



容器蓋、のぞき蓋、容器蓋パッキンを定められた使用濃度分の「FMI除菌洗剤」を入れたぬるま湯で、布かスポンジできれいに洗浄してください。

**お願い**

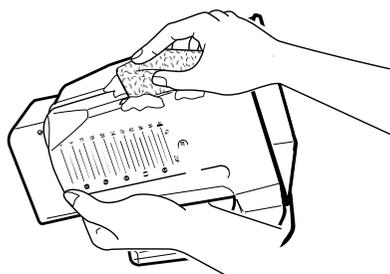
容器は、水などに浸けないでください。  
容器底部のカップリングに水などがかかりますとカッターの回転不良の原因になります。



容器の内側と外側を、水と除菌洗剤を含ませた布かスポンジできれいに洗浄してください。

**お願い**

容器蓋、のぞき蓋、容器、容器蓋パッキンは、硬いタワシなどでこすらないでください。  
キズがつく恐れがあります。

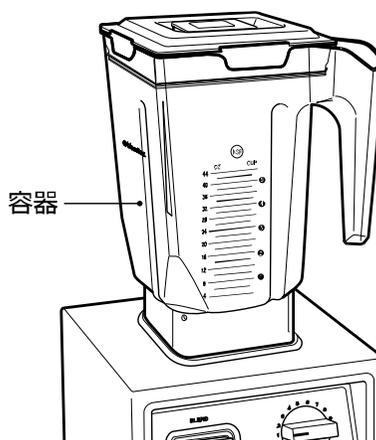


容器、容器蓋、のぞき蓋、容器蓋パッキンを流水で洗剤成分が残らないように充分すすぎ洗いをしてください。

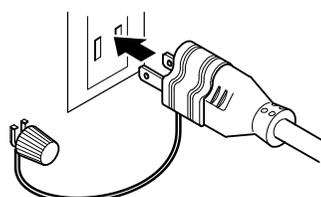
## 6. 容器内のカッターアッセンブリーの水分を取り除いてください

容器内を空の状態、容器蓋（のぞき蓋、容器蓋パッキンセット済み）をしっかりと取り付けてください。

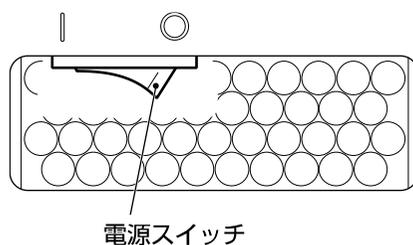
容器を本体にセットしてください。



専用コンセントに、電源プラグ（プラグアダプター付）を差し込んでください。



本体背面にある電源スイッチを「ON(入)」にしてください。



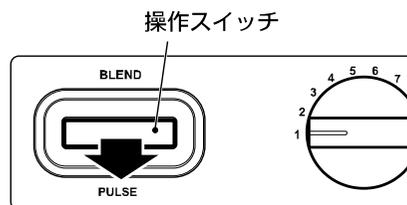
操作スイッチを3秒間、『PULSE』(パルス)に入れてカッターを回させてください。

### お願い

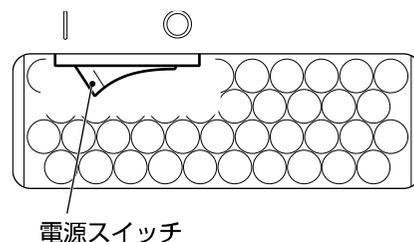
決して3秒以上長く空回ししないでください。

上記の方法は、分解ができないカッターアッセンブリー内のシール部分を乾燥させるためにおこなうものです。

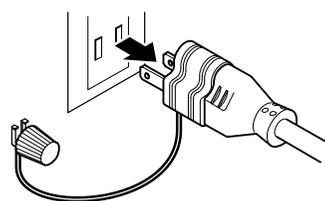
3秒以上空回しされた場合、カッターアッセンブリー内のシールが焼き付いて回らなくなるなど、故障の原因になります。



本体背面の電源スイッチを「OFF(切)」にしてください。



コンセントから、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いてください。



## 7. 容器、容器蓋、のぞき蓋、容器蓋パッキンを取り外し、清潔な布で各部品に付着した水分を拭き取り、空気乾燥させてください

### お願い

容器内のカッターやカッター周辺は、すぐに清潔な布で容器の水分を拭き取ってください。

カッターやカッター周辺に水分がついたまま放置しますと、金属部分が錆びる可能性があります。

金属部分が錆びると、カッターの回転不良の原因になります。

### お願い

容器蓋パッキンなどのゴム製品は、よく空気乾燥させてください。  
水分が残っていると、腐食の原因になります。

## 8. 乾燥した各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください

### お願い

アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法、および使用上の注意事項に従ってください。

保管される場合は、乾燥した場所に保管してください。

## 本体の清掃

### 警告



本体に直接水をかけないこと  
漏電、ショート、感電の原因になります。

### 1. コンセントから、電源プラグ（プラグアダプター付）を抜いてください

### 2. 本体は、中性洗剤を入れたぬるま湯で布巾を絞り、付着した材料をきれいに拭き取ってください

### お願い

クレンザー、酸類、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。  
キズが付いたり、破損の原因になります。



### 3. すすぎ用のきれいな水で絞った布で拭いて、完全に洗剤成分を拭き取って空気乾燥させてください

#### 4. アルコール除菌剤をしみ込ませた布で拭いて除菌作業をおこなってください

##### **お願い**

アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法、および使用上の注意事項に従ってください。

保管される場合は、乾燥した場所に保管してください。

# LEDのアラーム表示

操作部のLEDが、赤色に点灯、または点滅、消灯している場合は、下記の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「処置」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機背面の電源スイッチを「OFF(切)」にして、コンセントから電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いて、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の際は、本機の型式名、機番、お買上げ日、LEDのアラーム表示の状態、機械の状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

LEDの状態	主な原因	処置
LEDが点灯、または点滅しない	コンセントから電源プラグ(プラグアダプター付)が抜けていませんか？	電源プラグ(プラグアダプター付)が抜けている場合は、専用コンセントに、電源プラグ(プラグアダプター付)を差し込んでください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	電源スイッチの故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
	サーキットブレーカーが作動した可能性があります。	本体底側にあるサーキットブレーカーのスイッチを操作して、リセットしてください。
LEDが赤色に点灯	モーターが過熱状態になった	モーターが冷めるまで待ってください。 モーターが冷めれば使用可能になります。
	基板の校正が必要	お買上げ店へ連絡してください。
LEDが赤色で2回点滅後、1秒間休止の繰り返し	モーターに過負荷がかかった	電源スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグを抜いてから、過負荷の原因を取り除いてください。
LEDが赤色で3回点滅後、1秒間休止の繰り返し	温度センサーエラー	お買上げ店へ連絡してください。
LEDが赤色で4回点滅後、1秒間休止の繰り返し	ゼロクロッシングエラー	お買上げ店へ連絡してください。

LEDの状態	主な原因	処 置
LEDが赤色で7回点滅後、1秒間休止の繰り返し	基板エラー	お買上げ店へ連絡してください。
LEDが7色で点滅	自己診断中 (エラーではありません) 電源スイッチを「ON(入)」にした後、3秒以内に操作スイッチを「パルス (PULSE) 」にすると自己診断を開始します。	自己診断が終了するのを待ってください。

# 故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機背面の電源スイッチを「OFF(切)」にして、コンセントから電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いて、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、機械の状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

状 態	確認 / 症状	手 当
操作スイッチを操作してもモーターが回らない。	本体背面の電源スイッチが「OFF(切)」になっていませんか？	「OFF(切)」になっている場合は、電源スイッチをONにしてください。
	コンセントから電源プラグ(プラグアダプター付)が抜けていませんか？	電源プラグ(プラグアダプター付)が抜けている場合は、専用コンセントに、電源プラグ(プラグアダプター付)を差し込んでください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	モーター保護装置が動作している？	モーターが冷めるまで、電源プラグを抜いてしばらく放置してください。
	操作スイッチの故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
容器部から異常音が発生する。	丈夫なところに設定していますか？	水平で平らな場所、丈夫なところに据え付けてください。
	据え付けが悪く、ガタついていませんか？	
	のぞき蓋、容器蓋パッキン、容器蓋、容器が正しくセットされていますか？	のぞき蓋、容器蓋パッキン、容器蓋、容器を正しくセットしてください。
	モーター側カップリングまたは容器側カップリングの不良の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
モーターから異常音が発生する。 回転振動が大きい。	モーター不良の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
	モーター軸受部の不良の可能性があります。	
調理中に操作スイッチを「OFF(切)」にしても回転し続ける。	操作スイッチの故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。

状 態	確認 / 症状	手 当
調理中に『無段変速ダイヤル』を回してもカッターの回転速度が変わらない。	『無段変速ダイヤル』の故障の可能性がります。	お買上げ店へ連絡してください。
調理中に本機が止まった。	本機の後側底面にあるサーキットブレーカーが飛び出していますか？	本機には、モーター保護装置が付いており、モーターに過負荷がかかった場合、自動的に機械が止まります。モーター保護装置がはたらいて止まったときは、操作スイッチを「OFF(切)」の位置にした後、電源スイッチを「OFF(切)」にしてください。モーターへの過負荷の原因を取り除いてください。 容器内の食材の量を少なくしてください。 容器内に異物が混入していれば、それを取り除いてください。 本機の後側底面にあるサーキットブレーカーを押してから、電源スイッチを「ON(入)」にして、改めて調理をおこなってください。
材料が漏れる	材料を入れすぎていませんか？	1度にたくさんの食材をいれないでください。
回転ムラがある	—	お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる。	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF(切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF(切)」になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグが異常に熱くなる。	—	お買上げ店へ連絡してください。
電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。
モーターの回転が不規則であったり、止まったり、遅かったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。

# 電源プラグの点検（年に1～2回の点検）

## 電源プラグの点検

次の項目を点検してください。

電源プラグが、専用のコンセントに差し込まれていますか？

他の機器との共用を中止し、専用のコンセントを用意してください。

電源プラグや電源コードに異常な発熱や破損、重いものが乗ったり、挟み込まれていませんか？

異常の場合は、すぐにお買上げ店へ修理を依頼してください。

電源プラグの刃と刃の取り付け面、コンセントにほこりがついていませんか？

ほこりがついていている場合は清掃して取り払ってください。

## アース線の点検

アース線が切れたり接続部が緩んでいませんか？

異常の場合は電気工事業者に修理を依頼してください。







# 仕様

品名	マルチ ブレンダー 【Blendtec】	
型式	BAR BLENDER	
外形寸法	幅 196・奥行 196・高さ 407mm	
電源	100V 50 / 60Hz	
電流	14.5 A (8分定格)	
消費電力	1.2 kW	
回転数	1,500r.p.m. ~ 17,500r.p.m. 無段階変速 PULSE(パルス) 3,100r.p.m. ~ 25,000r.p.m. 【無負荷時】	
材質	本体	ポリカーボネイト
	容器	トライタン (80℃以下)
	容器蓋	TPE (熱可塑性エラストマー)、トライタン
	のぞき蓋	トライタン
	カッター	ステンレス
容器容量	2.3 L	
処理容量	最大：1.3 L、最小：0.35 L	
質量	4.6 kg (本体 3.8 kg + 容器、容器蓋 0.8 kg)	
電源コード	長さ：1.7m	

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

# 梱包内容一覧

梱包箱には、次のものが入っています。足りない場合は、お買上げ店へ連絡してください。

本体 (モーター部) .....	1 個
容器 (容器蓋、のぞき蓋、容器蓋パッキン付) .....	1 個
FMI除菌洗浄剤 (90g) .....	1 個
取扱説明書 (本書) .....	1 冊
保証書 .....	1 部

# 保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

## 消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

容器	容器蓋
容器蓋パッキン	のぞき蓋
付属の洗浄剤	—

## 補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後8年とさせていただきます。

# 株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市厩川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

202602 PA